

益田市地域公共交通会議議事録

会議名 令和元年度第2回益田市地域交通会議
開催日時 令和元年11月21日(木) 14時30分から15時15分まで
開催場所 益田市役所3階第2会議室

[事務局から]

9月に前委員の任期が終了したので、10月に委員の更新を行い、令和3年9月末までの委員を決定した。

1. 議題

(1) 浜田-萩・石見空港間乗合タクシーの概要について(空港対策室)【別紙により説明】

令和2年度からの本格運行実施に関して承認をいただきたい。これまでの実証運行との変更点として、予約時間が前日の21時まで行えたが、本格運行が始まってからは前日の19時までとする。

認知度が向上してきたこともあり快適アクセス事業から乗合タクシーに利用者が移行されてきており、利用率も平成30年度と比べて大幅に伸びている。なお、乗合タクシーの本格化に伴い快適アクセス事業は廃止される。

【質疑応答】・・・なし

議題(1)について・・・出席者全員の承認を受けた。

2. 過疎バス運賃の料金改定について・・・(事務局)【別紙により説明】

国土交通省の通達に基づき、石見交通の路線バスと重複する路線は運賃を改定することとしたため、承認をいただきたい。

【質疑応答】

・消費税率の引き上げが行われたが、全ての路線の運賃を改定しなくても良いということか。(住民代表)

→市として、消費税率引き上げに伴う、過疎バス、生活バスや乗合タクシーの運賃改定は行わないとしているが、今回の引き上げについては、路線バスと重複する路線のため、引き上げを行うこととしたい。(事務局)

・運賃の三角表を見ると、一つ前のバス停で乗車した方が安い場合があるがどういった理由か。(島根運輸支局)

→路線が入り組んでいる関係で三角表の階段を上がれば単純に金額も上がるようにはなっていない。(事務局)

議題(2)について・・・出席者全員の承認を受けた。

【意見交換】

・中山間地域では若者だけでなく高齢者も減ってきており、将来的に公共交通が残る

のか不安である。また、支所から離れた場所に住んでいる免許を持っていない独居の方の見守りも大変な状況であるため、コンパクトシティになったらいいと思う。(住民代表)

→中山間地域で人口が年々減ってはいくが、公共交通を必要としている人が一定数は住み続けている。行政の方針としてコンパクトシティには向かっていないため、交通に関しても現状維持の約束はできないが、住み続けることができるように取り組んでいく。しかし、一人一人に沿った体系で公共交通を走らせることができないので、公共交通でカバーする部分と、共助でカバーしていく部分の双方が必要である。(事務局)

→社会の繋がりが薄くなった時に、介護状態になりやすい。美都では高齢者に外へ出てもらえる取り組みを始めようとしている。効果が出れば匹見にも波及することができると考える。(政策企画局長)

→国も使いやすい制度になる様変更を行ってきている。今後もこのような協議会の場で困っている声等をあげていただければと思う。(島根運輸支局)

・都茂の自治会輸送では1日2,3人が利用をしており、運転手も1月に1回当番が回ってきている。これまで大きなトラブルもなく運行を行ってきており、住民からは好評である。中山間地で高齢者が住み続ける為には、足の確保が必要であるため、今後、公共交通と合わせて利用の仕方を考えていく必要があると感じている。(住民代表)

→利用の仕方というところで、小学生への乗り方教室の効果はあるか。(政策企画局)

→公共交通への意識付けや、興味関心を持っていただくことができたので今後も引き続き行いたい。(事務局)

・全国各地で定額運賃による公共交通支援が始まってきており、中山間地では定額であれば安心感があると思う。タクシー業界としても実現できるような働きかけをしていきたいが、行政も一丸となって働きかけをしていただければと思う。(タクシー協同組合)

→行政がこういった関わりをすればよいか相談させていただきたい。益田市という枠組みでなく、小さいエリアでも考えていく必要もあると思うので、交通事業者と一緒に協議していきたい。(事務局)